



東京 21 期の集まりは、支部の役員を以前から続けている宮村氏を中心に、(私も ひよんな事から役員の末席に名を連ねるハメ? になって) 一昨年開催された総会で会った何名かの間で一度同期会をという声があがって、今年やっと実現できたというものです。ポスト団塊世代の我々も 今年57~58歳となり、サラリーマン人生として見てもそろそろ微妙なところ(定年までを指折り数える...)へ差しかかっています。 やろうよ とは言ったものの 実現には時間を要する事になりました。各々、仕事はそれなりに多忙ですし、やはり何かキッカケと言うかタイミングの様なものが必要でした。そんな折、運動部系ルート(バレー部田中氏)から、廣田氏(柔道部)の東京転勤話。加えて畑中氏(バレー部)も頻繁に上京しており、そのタイミングでと一気に盛り上がり、やっと日程(2/18)と場所が決まりました。そこから連絡をとりあい、賛同を得た、今回は野郎ばかり12名での開催となりました。会場は、東京駅前にあるサラリーマンの社交場とも言うべき『北の家族八重洲口店』。今回の実質幹事役を務めてくれた井上氏(ラグビー部)がセッティングしてくれました。蛇足ながら会費も4,000円と大変リーズナブル、質実剛健を今なお実践する八尾高健児に相応しい内容でした。今回集まった12名、在校中クラスは別、顔もなんとなく記憶の中によみがえる程度の面々で会話すら交わした事のないメンバーにも拘らず、そこは同窓・同期の強みで乾杯からすぐ打ち解け、昔話から近況報告まで話題は尽きず、アツと言う間にお開きと相成った次第。

思えば、卒業後39年。小生の場合、3年終了と同時に家族ごと東京に転居をした。爾来心の底には、常に八尾高出身、大阪育ち、の意識は抱きつつ、大学も会社も東京の色が濃い(?)ところを選び 今日まで至っている。いざ振り返ってみると何とも言えない懐かしい気持ちやら、逆に、もっと頑張れたのでは、という後悔に近い気持ちもあわせて、複雑な心境になるのも事実です。

今回の同期会も表向きは、ただの「定年前のおっさんの飲み会」と言ってしまうえばそうなのですが、東京マラソンに挑戦(宮村氏)とか、ホノルルマラソン完走(木村氏)とか、各々が壮大な目標、あるいは強い意志をもちながら、それぞれの道、各々の置かれた環境の中で存在感を示している同期の連中に接して、自分もまだまだこれからと、色々な意味で前向きな気持ちが芽生えてきました。

その意味でも今回の初の同期会、やってよかった、意義があったと考えているのは小生だけではないと思います。 ”また、やりましょう”と言って三々五々別れた帰路は、心地よい酔いも手伝い、皆の足取りも軽かったと信じています。次回以降も、もっと参加人数も増やして、当然女性メンバーも募り、気のおけない仲間たちとの会として長く続けていければと考えています。

ぜひご参加くださるようお願いいたします。